

オレンジカフェ結

みなさんは、「認知症カフェ」ということばを聞いたことがありますか。

「認知症カフェ」は、認知症になったら行くカフェではなく「誰でもが参加できる」集いの場です。認知症カフェで参加者たちが出会うことによって、お互いに顔見知りになり、会えば会うほど親しみが増していき、認知症カフェ以外の場所でも日頃から声を掛け合うなど、自然と人と人とのつながりが生まれていきます。このように、「認知症カフェ」は、その場だけの会ではなく、カフェを通じて住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりの一助となることを目標としています。



このようなことから、本学では、地元福崎町の地域包括支援センターの支援を受けて 2016 年度から認知症カフェを開催していますが、大学内で開催するのではなく、地域のなかで地域住民とともにカフェを運営しているところに大きな特徴があります。



今では、大学のすぐ近くの交流会館をお借りして、区長様や民生委員様のご協力をいただき、大学生が運営の中心となって「オレンジカフェ結」を月に1回開催しています。2時間ほどのカフェでは、お茶を飲みながらお話をするだけではなく、参加者の方たちと一緒に運動や手作業をしたり、絵本の朗読をしたりして参加している誰もが楽しめるように事前から学生スタッフが準備をしています。当日の運営も民生委員様と協力しながら、学生スタッフが中心となって担っています。

今は新型コロナウイルスの感染拡大防止のために活動が中断しておりますが、いつでも再開できるように学生スタッフや民生委員様とは、すでに打ち合わせをしています。再開できる日を心待ちにしています。